



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

臨時議会報告 新型コロナ・ワクチン接種

6会場で65歳以上から実施(予定)

1月28日(木)、臨時市議会が開かれ、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に関する令和2年度一般会計補正予算(第9号)が提案され、全会一致で可決されました。

3月上旬に「接種券」を郵送、電話等で申し込む

「ワクチン接種」の主な内容は下記の通りです。

1月に厚生労働省より、新型コロナウイルスワクチン接種に向けて、様々な検討・調整・準備作業を短期間で行うようスケジュールが示されました。

ワクチン接種の概要

- ①接種回数 2回接種。
- ②接種の対象や、受ける際の接種順位(予定)
 - (1)医療従事者等 市内約7000人
 - (2)高齢者65歳以上 市内約73000人
 - (3)高齢者以外で基礎疾患を有する方や高齢者施設等で従事されている方
 - (4)それ以外の方
 なお、妊婦を優先するかどうかや、子どもが接種の対象となるかどうかなどは、安全性や有効性の情報などを見ながら検討される。
- ③接種が受けられる場所

原則として、住民票所在地の市町村(住所地)。春日部市は集団接種で、6か所程度の予定。

 ※候補場所 → 谷中小記念館、庄和総合支所、保健センター、健康福祉センター(ゆっく武里) 市民体育館(大沼)、中央公民館
- ④接種を受けるための手続き
 - (1)市から「接種券」と「新型コロナワクチン接種のお知らせ」が届く。
 - (2)接種可能な時期が来たことを確認する。
 - (3)接種会場を探す。
 - (4)電話やインターネットで予約する。
 - (5)郵送された「接種券」と「本人確認書類(運転免許証、健康保険証など)」を必ず持参。
- ⑤接種費用 全額公費(無料)。
- ⑥接種を受ける際の同意の取得

強制ではない。ワクチンの接種は、しっかり情報提供を行ったうえで、接種を受ける方の同意がある場合に限り接種を行う。
- ⑦副反応が起きた場合の健康被害救済制度

一般的に、副反応による健康被害が、極めて稀ではあるものの避けることができないため、救済制度が設けられている。

1月14日、市は「春日部市新型コロナウィルスワクチン接種実施プロジェクトチーム」

を設置し、現在準備が進められています。2月下旬に医療従事者等の先行接種が開始されます。(県において調整・実施) 3月上旬から高齢者(65歳以上)あてに接種券等を郵送、4月から高齢者の接種が開始されます。その後高齢者以外の方に順次、接種券等の郵送及び接種が行われる予定です。

相談体制を確立し、高齢者等の支援を
松本ひろかず議員は質疑のなかで「相談体制を確立し高齢者をしっかり支援することが必要」と強調しました。石川市長は「コロナ感染症の収束にはワクチン接種は極めて重要。医師会の協力をえて全力をつくす。」と表明しました。

全員協議会報告

新本庁舎整備事業

令和5年度に完成(予定)

1月28日、市議会全員協議会が開かれ、「本庁舎整備実施計画案」が報告され、協議が行われました。

実施計画の主な内容は下記のとおりです。

延べ床面積は
現在の約2・5倍



建設工事費は

111・9億円

旧市立病院跡地に建設される新本庁舎の延床面積は約2万1486㎡で、現庁舎の約2・5倍になります。旧市立病院東棟(1250㎡、地下1階、地上6階)を再整備し、西側に新しい庁舎(3956㎡、地上6階)を建設します。

松本ひろかず議員は「障害者やジェンダー平等への対応、ギャラリーや子どもライブラリーの休日利用、生活支援課の相談室の充実、乳幼児の一時預かり、災害対策、財源など」について質疑し要望しました。総合政策部長は「多機能トイレ、点字ブロック(黄色)

色)などに配慮し、誰もが安心して利用できるようにする。新築するギャラリー・子どもライブラリー・食堂棟を休日も開放し、相談室は拡充する。子どもやその家庭、妊産婦等に対する支援体制を一層充実させる。水害に対応するために地下に貯水槽を設置。国の財源を活用し、財政運営に大きな影響を与えない返済計画を検討する」と答えました。

外構計画

車両の市役所正面入り口は、現在会之堀川の暗きよ化工事後の武里・内牧線側。歩行者入り口は旧市立病院交差点付近の4か所。

交差点付近から入ると、さまざまなイベントができる「まちなかひろばのエリア」があり、ギャラリーテラス、カフェテラス、まちなかステージ、大階段スタンド、各所にベンチが設置され、日常的な憩いの場として開放。

代表的な機能

- ① 手続きに合わせたカウンターやゆとりある待合。フロアマネージャーを配置。
- ② 相談機能の充実として、個別相談室32室(現在の約2倍)、プライバシーの保護を考慮し、相談センターを設置。
- ③ 親子交流スペースを併設した子ども家庭総合支援拠点を設置。
- ④ 「まちなかひろば」に面して、1階ギャラリー・2階こどもライブラリーと、2階建ての食堂(カフェ)の2棟を新築。
- ⑤ 災害に強い庁舎として、免震構造とし、1階を駐車場に、2階以上を執務室として、大地震や水害に対応。非常用電源72時間。
- ⑥ 自然エネルギーの有効活用として、自然換気、太陽光発電、雨水利用など消費エネルギーを40%削減。
- ⑦ 誰もが利用しやすくわかりやすい「ユニバーサルデザイン」を充実。視聴覚障害者対応の「点滅型誘導音装置付誘導灯」や聴覚障害者対応のフラッシュベル、議会棟に「ヒアリンググループ」を設置。
- ⑧ シティセールス・歴史案内エリアを設置。



市立医療センター ☎735-1261(夜間毎日土・日・祝)内・外科系 救急電話相談#7119

- 2/7(日) (内科系)みどり内科医院:緑町4-13-25 TEL745-5000 (小児科系)神田医院:上蛭田127-1 TEL754-0854 (外科系)いかわ耳鼻咽喉科医院:大倉378-4 TEL746-8733
- 2/11(日) (内科系)内田医院:上吉妻164 TEL748-0704 (小児科系)浜崎医院:備後西3-8-57 TEL745-6000 (外科系)正仁堂整形外科クリニック:南中曽根1070 TEL738-0641